

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	農業委員会一般事務			
予算科目	6款 1項 1目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 農業の振興			
所管課情報	担当課: 農業委員会事務局		電話番号(内線): 983-6351	
記入者情報	所属長: 向井 裕臣		担当責任者: 鶴岡 憲雄	
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	農業委員会の運営業務・農地管理事務・国有農地管理事務・農業者年金取扱事務			
根拠法令等	農業委員会法・農地法・農業経営基盤強化法			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会法に基づき農業委員会総会を開催し、許可申請案件の審議や農家の意見の公表、建議などを行う。 国有農地の借受人から国有農地貸付使用料の徴収を行う。 農業の振興と老後の安定及び家計を補うための農業者年金の加入者の推進を図る。 			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 農地法に基づく農地の権利移動の許可、農地の転用許可等の審議を行う。 国有農地の貸付使用料を県から事務委託を受け農業委員会が徴収を行う。 農業者年金加入資格者に対し、制度のPRを行うと共に加入推進を図る。 			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	14,972	12,183	5,014	11,264
	人件費	7,954	8,042	4,021	8,042
	合計	0	20,225	9,035	19,306
人件費 内訳	人工数	1.00	1.00	0.50	1.00
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	7,954	8,042	4,021	8,042
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	3,301	2,703	0	3,304
	地方債	0	0	0	0
	その他	605	601	563	903
	一般財源	19,020	16,921	8,472	15,099

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
農業委員報酬	円	7201658	7260000	3630000	7260000
農地法許可申請件数	件	121	120	72	104
農業者年金新規加入者数	人	0	5	1	2

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	・当該年度の委員報酬・農地法許可申請件数・農業者年金新規加入者数/前年度の委員報酬・農地法許可申請件数・農業者年金新規加入者数×100			
指標設定の考え方	農業委員会活動実績の基礎となる農地法許可申請件数及び農業者年金新規加入者数とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	-	1.008	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農地法の規定により、農地転用等の許可申請から、耕作放棄対策として、農地利用意向調査の実施を行っているが、一部実施できていないため、来年度は規定どおりの実施が必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農地法に基づく耕作放棄地全体調査や農地利用意向調査等、昨年度から実施すべき事案について今年度なお一部未実施であり、来年度からの全面実施が不可決である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	